

うちの青年主婦シニア自慢8



女性も仲良くカラオケで盛り上がるけやきの会

小平東村山支部けやきの会

【小平東村山・塗装・安立孝章通信員】我が支部のシニアの会は2016年の支部合併に伴い、「げやきの会」としてスタート。役員など15人の世話人会(隔月開催)で運営しています。昨年(2022)の正月はコロナ禍で悩みながらも、大相撲初場所の観戦をしました。本物

9月より活動再開

一番人気は新年懇親会

ななどを計画してきました。ピースウォークは東京近郊の戦争史跡(第五福竜丸展示館・登戸研究所など)を訪ねながら平和について考える散歩会。健康ウォーキングは良い景色を眺めながら、「二万歩」以上歩くものです。参加者が15人ほどの

で、もう少しふえてくれればと願っています。秋は一泊旅行です。ツアーにはツアーの良さがありますが、仲間同士で行く旅行も良いものです。やはり、宴会は付き物で、仲間の日頃知らない面を見ることが出来るのも良いところだと思います。何はともなし、一泊旅行だけは参加するといふ人もいます。また、新年の懇親会は少し時期をずらした新年会で、参加者が70人を超えたこともある、一番人気のイベントです。しかし、この3年間はコロナ禍で、すべての行事が見送られてきました。9月より活動を再開しましたが、早く以前のような状況に戻ってほしいものです。



昨年秋の一泊旅行には34人が集まった

【西多摩支部の執行委員会兼2023年旗開きを、1月7日に支部会館で開催。前日の行事でコロナの陽性者が発覚、旗開きとしては澤乃井のワ

2023年の歩みがスタート

日野 増勢で50周年迎える

仲間のつながりを強化へ

【日野・書記・斎藤景介】 京立川にて、新春旗開きを開催しました。



力を合わせて鏡開き

参加者は市長、国会議員4人(うち1人は祝電)をはじめ、都議会議員、市議会議員、顧問先を含め全51人でした。高木委員長は、「日野支部では再結集、再起動など仲間のつながり強化に取り組んできました。また、事業所分会始動の年で分会執行委員会を開催し、組合運動の参加にもつなげてきました。来年は支部50周年を迎えるので何となく増勢を勝ち取りたい」と、力強くあいさつしました。続く来賓のあいさつでは、市長からは公契約条例では審議委員の選出など日頃よりお世話になっている旨、また各市議会議員からは、この秋に

行なった全会派懇談により「重要な政策については共に頑張っていきたい」「日野市建設業振興条例に向けて、超党派で前に進めていきたい」など、日野市の明るい建設業に向けた前向きな言葉をいただきました。最後に、「2023年も頑張ろう!」という書記長の一本締めで閉会しました。

品川 久々の歓談で笑顔 森澤区長「今後も支えて」



あいさつする森澤区長

【品川・書記・新聞通信員】お正月も明けた1月7日、七草の日。品川支部の「新年初顔合わせ」が品川区立中小企業センターにて、来賓26人、組合員66人の参加で開催されました。その後、昨年12月に東京23区初、全国でも6例しかない首長選再選挙を勝ち抜いた、森澤区長品川区長より「品川区が行なっている住宅関連諸制度を、今後も支えていただきたい」とのお言葉を頂戴しました。また、松原・石原両衆議院議員、伊藤・阿部・白石都議、品川区議会全会派の皆様も駆けつけてくださいました。そして、待ちに待った乾杯から、久しぶりの歓談へと移り、皆さん終了間際まで、楽しげに談笑していました。

葛飾 3年ぶり新春の集い 青木区長ら来賓多数参加



女性の会のオカリナ演奏

【葛飾・書記・小藤隆之通信員】3年ぶりの新春のつどいを、1月11日に開催。参加者は来賓あわせて91人。感染防止対策で人数を例年より縮小しての開催となりました。来賓には、東京土建本部、東部ブロックの各支部のほか、青木区長をはじめ、平沢衆議院議員、田村参議院議員、都議からは北口議員、和泉議員、平田議員の3人。区議の各会派を代表して秋家議員、小川議員、川越議員、三小田議員の4人の参加がありました。「住みやすい街づくりをめ

西多摩 波乱の幕開けでも 4千人回復をめざす

【西多摩・書記・濱徹通信員】西多摩支部の執行委員会兼2023年旗開きを、1月7日に支部会館で開催。前日の行事でコロナの陽性者が発覚、旗開きとしては澤乃井のワ

ンカップを参加者に配ったのみで終了。執行委員会では、年末拡大の報告を行ない、秋の月間終了時点で、年末の奮闘いかんでは9年連続の実増に手がかる到達を築きました。したが、年末拡大では加入30人、年末目標の達成は4分。年間目標達成は6分にとどまり、9年連続での組織増勢、3年連続での4000人維持の実現にはあと一歩でした。最後に、「困った仲間を取り残さない」活動を進め、年間実増と4000人支部回復をめざすことを確認しました。